



2019年6月11日

海の画像認識システム構築研究委員会の発足について

～海の画像ビッグデータ構築に向けて～

- 船舶の運航における安全性の更なる向上のためには、船員による目視、従来からのレーダ、AIS（自動船舶識別装置）による外部情報・データの利用に留まらず、将来の第三、第四の「目」として、先進技術を活用した船舶の運航における周囲状況の認識機能の構築・精度向上に向けた取組を進めていく必要があります。
- 船舶の周囲状況の認識機能としては、昨今急激に進歩したAI技術（特にDeep Learning）を活用した画像認識技術の適用が非常に有力ですが、これを活用するためには、「海」における活用ニーズを踏まえた、膨大な画像データ（ビッグデータ）が必要です。
- そこで、先進技術を活用した船舶の運航における周囲状況の認識機能の構築等に向け、当会をプラットフォームとした関係機関の連携・共同検討体制「海の画像認識システム構築研究委員会」を設置し、AI技術を活用するための基盤となる「海」における画像ビッグデータ（AI技術を活用するための教師データを含む。）の収集・整備を行います。

1. 研究開発の概要

概要につきましては、別紙資料をご覧ください。

2. 委員会の取材について

下記の日時、場所等にて、第1回委員会を開催することとしておりますところ、同委員会の冒頭写真撮影等、取材についてご希望がございましたら、下記問い合わせ先にご連絡ください。

【第1回 海の画像認識システム構築研究委員会】

日時：6月13日（木） 14時00分～17時00分

場所：東京都港区西新橋1-6-15 NS 虎ノ門ビル AP 虎ノ門11階 Aルーム

議題：・海の画像認識の現状と課題

・データの仕様/収集方法などについて等

3. お問い合わせ先

（一財）日本船舶技術研究協会 研究開発ユニット 高橋、森山、杉山

TEL: 03-5575-6428

Email: rdu@jstra.jp